

今年3度目！「多用途支援艦ひうち」 新潟県募集活動に大きく貢献



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、11月10日（日）柏崎港（柏崎市）において「多用途支援艦ひうち」の一般公開を実施しました。

この一般公開は、11月9日（土）新潟県で行われた「原子力防災訓練」に「ひうち」が参加し、翌日行った自主広報で「ひうち」と新潟地本が実施し開催されたものであり、約700人が訪れました。多用途支援艦「ひうち」は、今年度3回目の来航で、訪れた来場者数が累計5500名となりました。

特に駐屯地等がない新潟県中越地域には寺泊港（長岡市）に続き2回目の来航で、約3000人が一般公開に足を運び、新潟地本の募集広報に大きく貢献しました。



来場者は艦橋に上がり、艦長席から望遠鏡で外の風景を眺めたり、船尾では海上自衛隊制服試着コーナーで子供達が艦長や女性乗組員と笑顔で記念撮影をするなど賑わいを見せていました。来場者からは「乗組員が清々としていて、記念撮影も気さくに応じてくれて楽しかった」などの嬉しい言葉をいただくことができました。



新潟地本は、今後も艦艇広報を通じて自衛隊の活動をPRするとともに、募集広報基盤の拡充を図っていきます。